

日本マス・スクリーニング学会指定研修機関および研修実施項目

2014年4月現在

1. 基礎理論・基礎技術研修

指定研修機関名	研 修 項 目	
独立行政法人国立成育医療研究センター研究所マススクリーニング研究室	基礎理論研修*1	スクリーニング概論、検査法、診断治療など
	基礎技術研修*2	スクリーニング対象疾患の基礎技術

*1: 新生児スクリーニングの歴史、現状、成果、検査法の原理、対象疾患の診断・治療・予後などの講義による基礎理論の習得を目的としています。

*2: 新生児スクリーニング対象疾患の基礎的な検査技術を実習により取得することを目的としています。

2. 専門技術研修*3

指定研修機関名	研 修 実 施 可 能 項 目					
	タンデムマス・スクリーニング	ガラクトース血症	先天性甲状腺機能低下症	先天性副腎過形成症	データ処理	備考
札幌市衛生研究所	1. 一次検査 (使用機器: Waters) (試薬: 自製、誘導体化法) 2. 二次検査実施: 有 (使用機器: GC-MS、HPLC) (試薬: 自製)	1. 酵素法によるガラクトースの定量 2. ポイトラー法によるトランスフェラーゼ活性の定性 3. エピメラーゼ活性の定性	ELISA法: TSH、FT4 ・全例でTSH/FT4測定	1. ELISA法: 17-OHP(直接法/抽出法) 2. LC-MS/MS: ステロイドプロファイル測定	1. ELISA: 統一ソフト 2. タンデムマス・スクリーニング: 自製ソフト 3. 受付・成績発行システム: 自製ソフト	・二次検査のHPLCはアミノ酸測定 ・神経芽細胞腫スクリーニングの研修が可能
(公財)東京都予防医学協会	1. 一次検査 (使用機器: Waters) (試薬: 自製、非誘導体化法) 2. 二次検査実施: 有 (使用機器: HPLC) (試薬: 自製)	1. 酵素法によるガラクトースの定量 2. ポイトラー法によるトランスフェラーゼ活性の定性 3. エピメラーゼ活性の定性	ELISA法: TSH、FT4 ・全例でTSH/FT4測定 ・一部FT4測定	1. ELISA法: 17-OHP(直接法/抽出法)	1. ELISA、ガラクトース: 統一ソフト 2. タンデムマス・スクリーニング: 自製ソフト 3. 受付・成績発行システム: 自製ソフト	・タンデムマス・スクリーニングの二次検査としてLC-MS/MS法の研修が可能
(公財)神奈川県予防医学協会	1. 一次検査 (使用機器: AB Sciex) (試薬: 自製、誘導体化法) 2. 二次検査実施: 無	1. 酵素法によるガラクトースの定量 2. ポイトラー法によるトランスフェラーゼ活性の定性 3. エピメラーゼ活性の定性	ELISA法: TSH、FT4 ・全例でTSH/FT4測定	1. ELISA法: 17-OHP(直接法/抽出法) 2. LC-MS/MS: ステロイドプロファイル測定(検討中)	1. ELISA、ガラクトース: 自製ソフト(統一ソフト: 2014年4月から) 2. タンデムマス・スクリーニング: 自製ソフト 3. 受付・成績発行システム(自製ソフト)	
大阪府立母子保健総合医療センター	1. 一次検査 (使用機器: API-3200) (試薬: 自製、非誘導体化法) 2. 二次検査実施: 有 (使用機器: API-3200、TQ-4500、LCMS8040、GCMS2010)	1. 酵素法によるガラクトースの定量 2. ポイトラー法によるトランスフェラーゼ活性の定性 3. エピメラーゼ活性の定性	ELISA法: TSH、(FT4) ・必要に応じてFT4測定	1. ELISA法: 17-OHP(直接法/抽出法)、2抗体併用法) LC-MS/MS: ステロイドプロファイル測定	1. ELISA、ガラクトース: 統一ソフト 2. タンデムマス・スクリーニング: 自製ソフト 3. 受付・成績発行システム: 自製ソフト	・タンデムマス・スクリーニングの二次検査としてLC-MS/MS法、GC-MS法の研修が可能
(一財)大阪市環境保健協会	1. 一次検査 (使用機器: Waters) (試薬: 自製、非誘導体化法) 2. 二次検査実施: 無	1. 酵素法によるガラクトースの定量 2. ポイトラー法によるトランスフェラーゼ活性の定性	ELISA法: TSH ・TSH測定のみ	1. ELISA法: 17-OHP(直接法/抽出法)	1. ELISA、ガラクトース: 自製ソフト 2. タンデムマス・スクリーニング: 自製ソフト 3. 受付・成績発行システム: 自製ソフト	
(一財)化学及血清療法研究所	1. 一次検査 (使用機器: AB Sciex) (試薬: キット、非誘導体化法) 2. 二次検査実施: 有 (使用機器: Waters、HPLC) (試薬: 自製、誘導体化法)	1. 酵素法によるガラクトースの定量 2. ポイトラー法によるトランスフェラーゼ活性の定性 3. エピメラーゼ活性の定性	ELISA法: TSH ・TSH測定のみ	1. ELISA法: 17-OHP(直接法/抽出法)	1. ELISA、ガラクトース: 統一ソフト 2. タンデムマス・スクリーニング: 自製ソフト 3. 受付・成績発行システム: 自製ソフト	・二次検査のHPLCはアミノ酸測定

*3: 各検査施設のスクリーニングプログラムに基づく検体の受付から検査(精度管理を含む)、判定、成績の連絡、精査・追跡調査方法などを習得することを目的としています。